

令和3年3月19日

## 文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和3年3月19日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに132件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、13,097件となる予定です。

### 1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	132件 24府県42市町村	13,097件 47都道府県982市町村(区)

### ○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	27	42	22	41	132
累 計	2,331	4,147	2,652	3,967	13,097

### ○種 別 (件)

	産 業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	3	10	4	2	0	0	6	100	7	0	0	132
累計	118	1,377	1,646	512	233	393	336	420	5,877	1,890	210	85	13,097

### (件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	113	1	18	132
累 計	10,375	649	2,073	13,097

今回の答申における主なもの

① <sup>さど あいかわ</sup>佐渡相川の鉾山町を代表する住宅の一つ

007 高田家住宅主屋ほか2件 新潟県佐渡市 明治2年

重要文化的景観「佐渡相川の鉾山及び鉾山町の文化的景観」選定地内に位置。高田家は薬品製造販売で財をなした。切妻造り平入りの主体部の西に東西棟の薬品製造所を増築。主体部床上部の表側にあるオエは大空間で見ごたえがある。奥には洗練された意匠の座敷を配する。通りに面して建つ大型住宅が鉾山町の景観をつくる。



提供：佐渡市

② <sup>かわち</sup>河内木綿の商いで <sup>りゅうせい</sup>隆盛した商家の遺構

060 木村家住宅主屋ほか3件 大阪府八尾市 江戸後期

木村家は木綿商として財をなし、明治以降は医業に転じた。主屋は通りに北面し、つし2階建て切妻造り <sup>さんがわらぶ</sup>棧瓦葺きで正面に下屋を通す。東寄りに玄関を開け、西は出格子を建てる。2階は格子窓を開ける。内部は西列に正面から表座敷、中座敷、裏座敷を配する。江戸時代に遡る重厚な町家で隣接する土蔵ともに通りの景観を形成する。



提供：八尾市教育委員会

③ <sup>まやさん</sup>摩耶山中腹に鎮座するアールデコの旧ホテル

069 旧摩耶観光ホテル 兵庫県神戸市 昭和5年

摩耶山南麓中腹に建つもとホテル。L字形平面を持つ地下2階、地上2階建ての鉄筋コンクリート造で、四層の外観各階に水平連続 <sup>れんぞくびきし</sup>庇をまわして曲面を強調し、大きな開口を開ける。内部の大ホールや大食堂は、コンクリートの <sup>おおはり</sup>大梁を表して大空間を分節し、舞台等の内装にアールデコ調意匠をみせる。かつての山上リゾート施設の有様を示す。



撮影：前畑洋平・温子

④ ロビーに面してすべての室を展開させた明快なプランニング

112 島根県立図書館 島根県松江市 昭和43年

旧松江藩の薬草園跡地に位置。鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建ての図書館。隣接する武道館とともに、島根県に多数の公共建築を残した菊竹清訓きくたけきよのりの設計。L字形の閲覧室を敷地形状にあわせて配置し、中央ロビーに鉄骨屋根を架けて展示や休憩スペース等を配した合理的な平面構成を持つ。外部の壁柱を松江城山公園に向けて揃え、眺望を確保した。



⑤ 中山造りの特異な本殿に呼応する江川三郎八えがわさぶろうはちの創作による近代社殿

114 中山神社拝殿ほか1件 岡山県津山市 大正11年

中山造りとして知られる重要文化財の中山神社本殿の大正修理にあわせて建築された拝殿。入母屋造り檜皮葺きで正面に唐破風向拝を付ける。設計は江川三郎八。特異なプロポーションの扱いや、吹寄垂木や内部格天井、舟肘木の使用等、随所に江川の作風かんしゆが看取される。同じく江川えがわの設計になる幣殿とともに、本殿に呼応した景観をつくる。



⑥ 台湾航路整備にともなって敷設された灯台遺構

131 屋久島灯台ほか1件 鹿児島県熊毛郡屋久島町 明治30年

台湾の開発のため陸軍省が設置した台湾航路8灯台のうちの一基。設計は臨時台湾燈標建設部。屋久島北西の永田岬に位置し、煉瓦造の灯塔上部にバルコニーを廻らし、下部に扇形平面の附属舎をもつ。入口にペディメントと柱形を表し、附属舎とも軒に齒飾はかざりを飾る。現存する明治期灯台で最南部に位置し、峻険な要衝の景観に寄与している。



＜担当＞	文化庁文化財第二課
	電話：03-5253-4111（代表）
課長	鍋島 豊
課長補佐	田井 祐子
登録部門	田中 禎彦, 福田 剛史（内線 2797）
審議会係	川口 雅之, 川村 昌由（内線 3160）